

2学期末 保護者・児童アンケート結果

陸別町立陸別小学校

	質問事項	当てはまる	だいたい当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
自立した学習者					
1	(低) べんきょうでわからないことがあったら、せんせいやともだちにきいていますか。 (中・高) 勉強で新たに気づいたことやわからなかったことをふりかえりに書いていますか。	36.7	42.9	16.3	4.1
振り返りにおいては、高いポイントを維持している。次年度は、さらなる高みを目指すために主体的に学んでいるかだったり、自分なりの学びの道筋を捉えているかだったりがわかるような文言の工夫が必要である。					
個別最適な学びと協働的な学び					
2	(低) がっこうのじゅぎょうでは、たくさんはつびょうしていますか。 (中・高) クラス全体やグループ、友だち同士で話し合いをするとき、自分の意見を積極的に発言していますか。	42.9	49.0	6.1	2.0
	(保) お子様は、自分の意見や考えを人に積極的に伝えていますか。	20.0	65.0	15.0	0.0
「伝える」という部分において、全体として高まりが見られる。「個別最適」同様に、文言を工夫し、双方向のコミュニケーションの育成が図れるよう改善していきたい。					
自己有用感					
3	(低) べんきょうやうんどう、ならいごとなどで、じまんでできるとくいなことがありますか。 (中・高) 自分にはいいところがあると思いますか。	38.8	40.8	18.4	2.0
	(保) お子様には、いいところや得意なところがあると思いますか。	70.0	30.0	0.0	0.0
全体的に前回の数値より上がっているため、児童の自己肯定感の向上がみられた。1年間を通して、児童の数値は85%以上見られていないので、様々な場面で児童のいいところを逐一伝えていくことが必要だと感じた。					
発達支持的生徒指導①					
4	(低) じぶんから、「おはようございます」「こんにちは」とあいさつしていますか。 (中・高) 知っている人に会ったときは、自分からあいさつをしていますか。	59.2	38.8	0.0	2.0
	(保) お子様は、家族や近所の人に、しっかり挨拶していますか。	20.0	65.0	10.0	5.0
児童の挨拶に対する自己評価は前回同様に高い一方、教職員の評価は低下している。挨拶の質や主体性を高めるため、学校と家庭で目指す姿を共有し、具体的な指導を継続することが必要だと考える。					
発達支持的生徒指導②					
5	(低・中・高) 「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から進んで言っていますか。 (保) お子様は、「ありがとう」、「ごめんなさい」を自分から進んで言っていますか。	44.9	51.0	4.1	0.0
		15.0	70.0	10.0	5.0
前回と比べると、低学年・教職員で若干の低下は見られるが、全体的には同じ数値である。児童自身が、自分では言えているつもりでも、相手には伝わっていないという場面も見受けられるため、その都度指導が必要であると考え。					
ヘルスリテラシー					
6	(低・中) 早ね早起きや好ききらいに気をつけて生活していますか。 (高) 食事やすいみんなど、生活のリズムに気をつけて生活していますか。 (保) お子様は、食事や睡眠など、自ら進んで健康に気をつけて生活していますか。	30.6	51.1	12.2	6.1
		10.0	40.0	40.0	10.0
低学年での数値低下がみられる。学校にも慣れ早寝早起きの部分での乱れが低学年で出てきていると感じる。前回に引き続き保護者及び教職員と児童の意識とのギャップが大きい。					

7	アウトリーチ型相談体制				
	(低) かなしいことやこまったことがあったとき、せんせいにおはなしできますか。	38.8	36.7	14.3	10.2
	(中・高) つらいことやこまったことを、学校の先生に相談できますか。				
高学年へ進むにしたがって、先生への相談が減る傾向にある。子どもの発達としてとらえれば妥当ではあるが、先生へ気軽に相談できる雰囲気や担任以外に相談できる先生がいることの大切さを考え関わっていきたい。また、教師から少しでも普段とは異なると感じたら、教員間で連携してその子にかかわっていくことが大事になってくる。					
8	家庭学習				
	(低) かていがくしゅうをわすれずにしていますか。	42.8	28.6	20.4	8.2
	(中・高) 自分からすすんで家庭学習をしていますか。				
9	(保) お子様は、家庭学習の習慣が身に付いていますか。	30.0	30.0	25.0	15.0
	前回と比べて、教職員の数値が高くなったが児童、保護者それぞれの数値はほぼ下がっている。学年の実態を考えながら、自分で学習することを決めたり、計画的な家庭学習を定めたりすることも必要だと感じる。				
	地域行事への参加				
9	(低・中) お祭りやイベントなど、地いきの行事によく参加していますか。	63.3	28.6	6.1	2.0
	(高) お祭りやボランティア活動など、地域の行事に参加していますか。				
	(保) お子様は、地域の行事やイベントによく参加していますか。	25.0	55.0	20.0	0.0
児童・保護者とも肯定的な回答が8割を超えている。「しばれフェスティバル」はもちろん、地域のお祭りやイベント、あるいは生活科・総合的な学習の時間の一環として実施している「りくべつ学」の学習を通じて、ふるさと陸別への愛着を育んでいきたい。					
10	今年度のテーマ				
	(低・中・高) 自分が「主人公」として活やくできたことはありましたか。	62.5	0.0	0.0	37.5
	「主人公」を「自分が一番になった」とか「誰かに勝った」ととらえている児童が多いことがあげられる。来年度からはテーマの見直しも含めて、児童にわかりやすい言葉で伝える工夫が必要である。				

数値は(%)

令和8年1月22日

陸別中学校保護者 各位

陸別町立陸別中学校
校長 川 端 将 由

令和7年度 学校評価アンケート結果(後期)を生かした今後の学校運営について

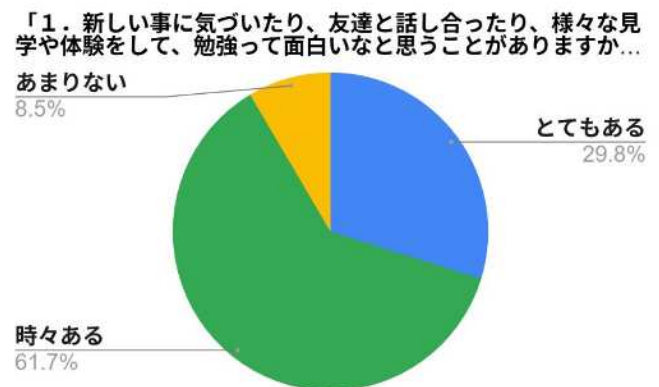
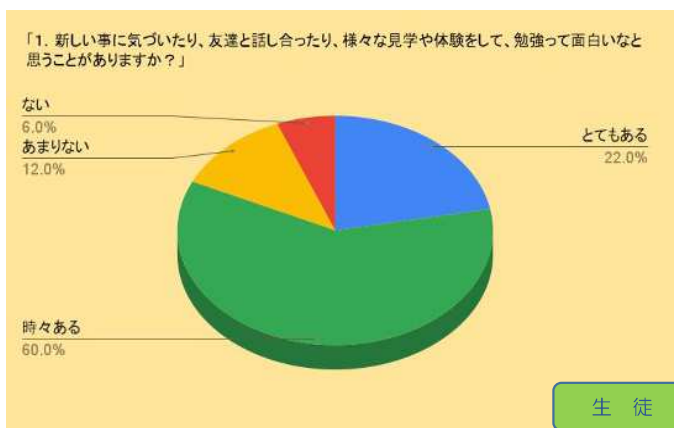
初春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、今年度実施いたしました第2回目の学校評価アンケートの結果について比較分析を行い、まとめましたのでお知らせいたします。

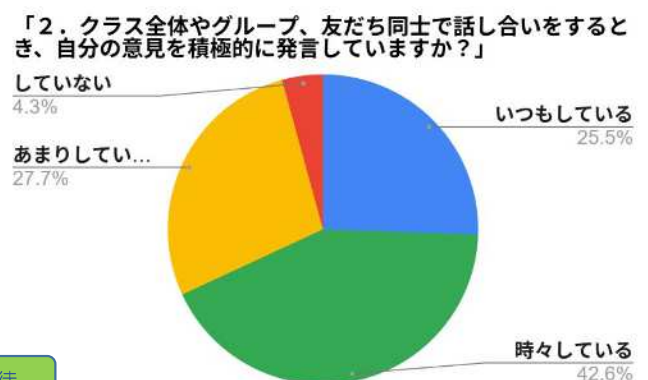
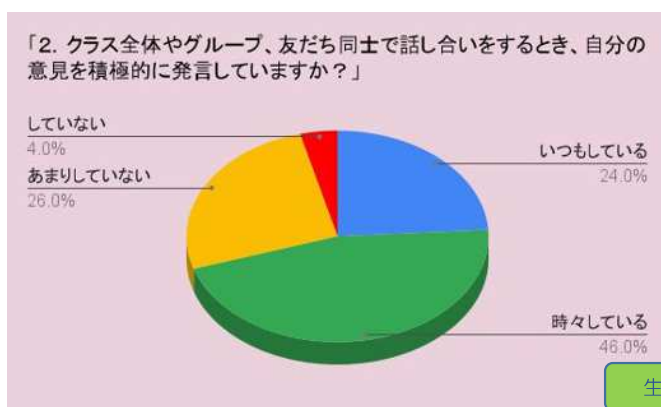
今年度2回目のアンケート結果の考察・分析については、第1回目の結果と合わせて確認いたします。課題が見られる部分につきましては、今年度の3学期および、次年度の学校生活において改善が図られるよう取組を学校全体で行って参ります。今後とも、ご支援とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

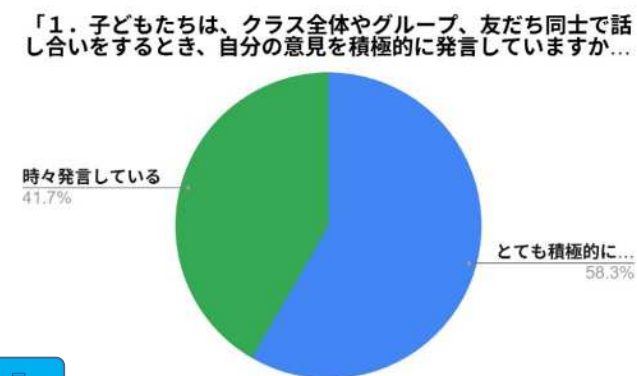
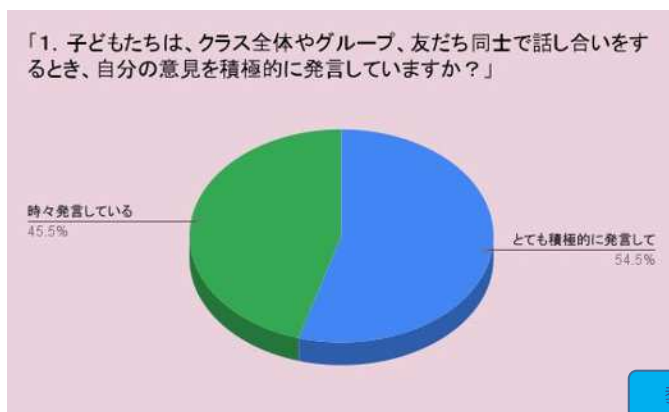
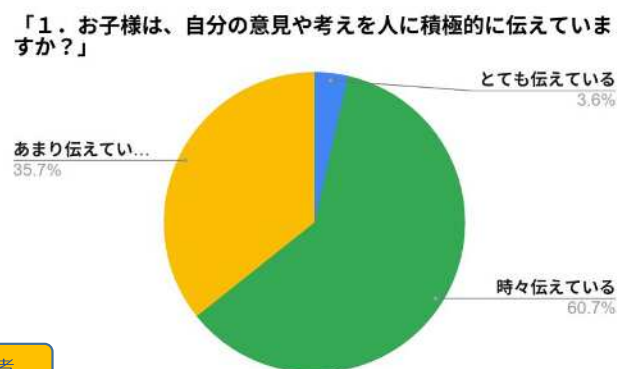
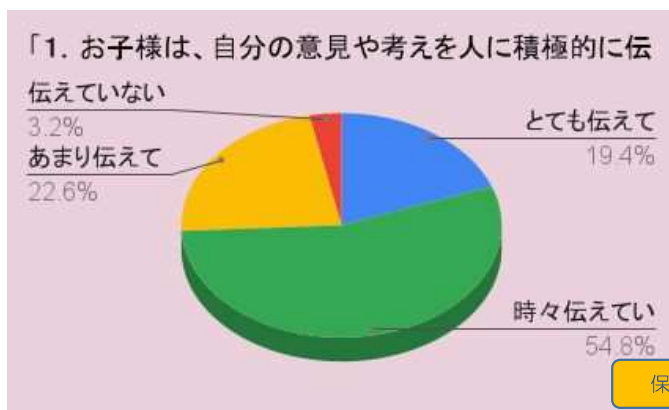
※前期と後期のグラフの見分け方→前期は背景色付き立体、後期は背景白地の平面です。比較時の参考としてください。

(子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進)



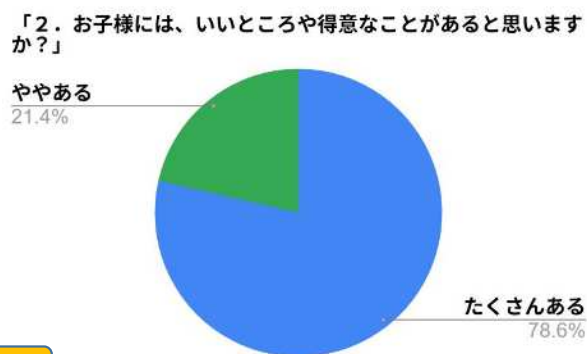
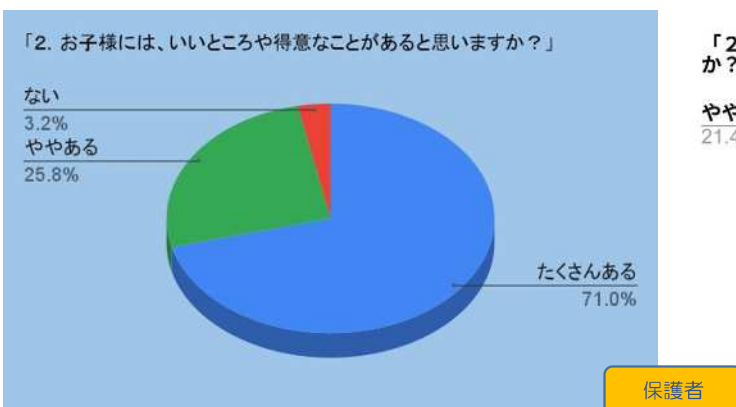
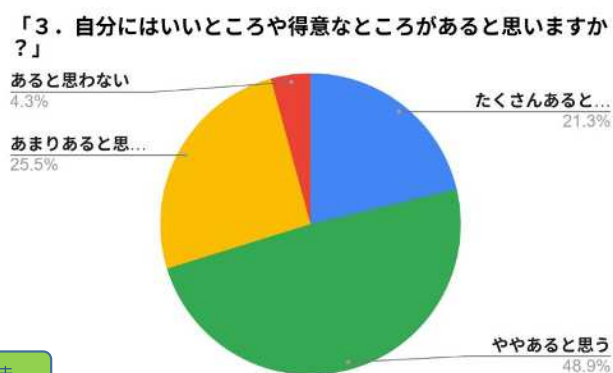
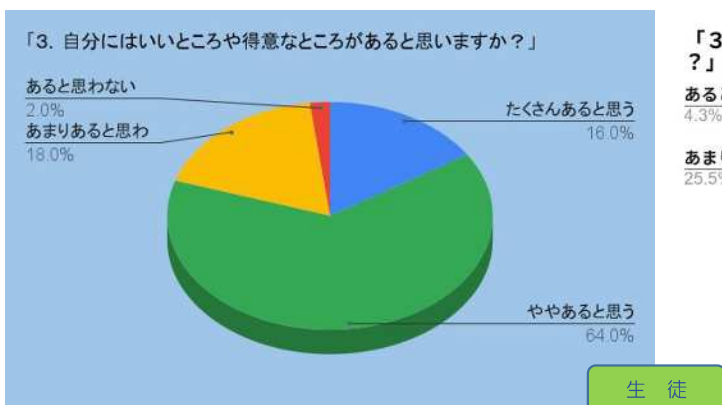
前期よりも【とてもある・時々ある】がどちらも増え、9割を超え、【ない】という回答もなくなりました。学校生活における友達との良好な関わりや対話、学習に関しての興味・関心はさらに得られていると考えられます。





生徒・教員は、微増でほぼ同様の数値、保護者は、肯定的な選択数値の減少となっています。3 学期や次年度は、より話し合いやグループ活動が主体的、かつ活発に行えるような授業改善を行い、保護者の皆様にもその様子が伝わるよう努めてまいります。

(豊かな人間性)

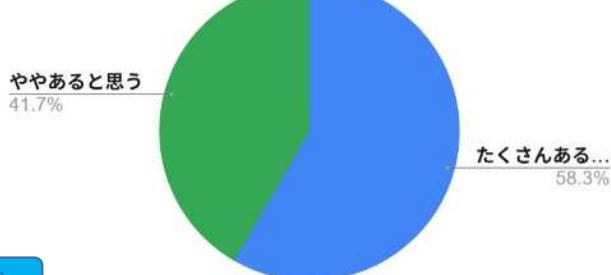


「2. 子どもたちはそれぞれ、自分のいいところや得意なことをもっていると思いますか？」



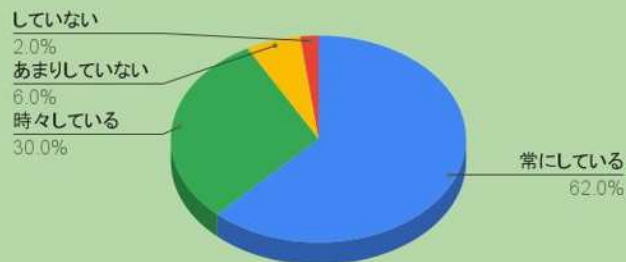
教 員

「2. 子どもたちはそれぞれ、自分のいいところや得意なことをもっていると思いますか？」



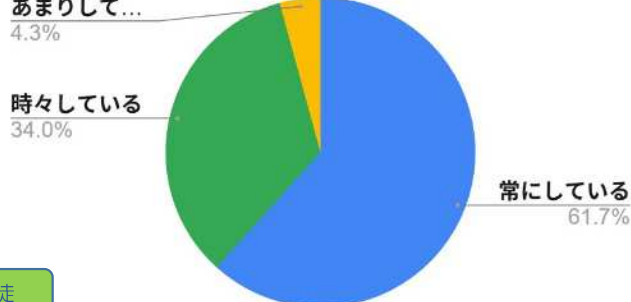
前期では、昨年度の自己肯定感の向上に関する項目と同様に肯定的な回答の選択が多くなったと感じましたが、今回は生徒・教員では前期より下回りました。生徒が「自分はいいところ、得意なところがある」と自信をもてるような教育活動を今後改めて展開していけるよう努めてまいります。

「4. 知っている人に会ったときは、自分からあいさつをしていますか？」

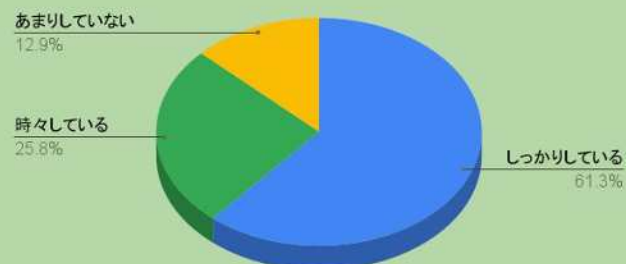


生 徒

「4. 知っている人に会ったときは、自分からあいさつをしていますか？」

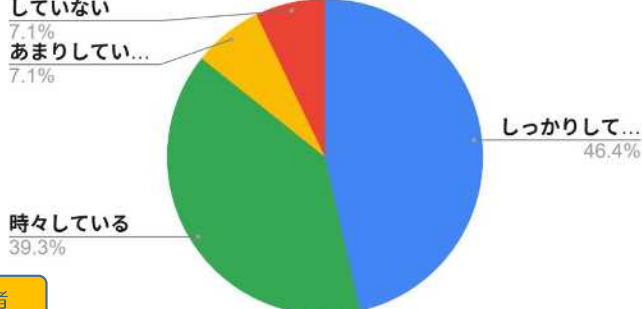


「3. お子様は、家族や近所の人に、しっかり挨拶していますか？」

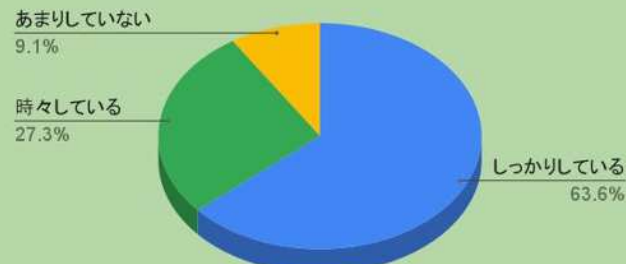


保 護 者

「3. お子様は、家族や近所の人に、しっかり挨拶していますか？」

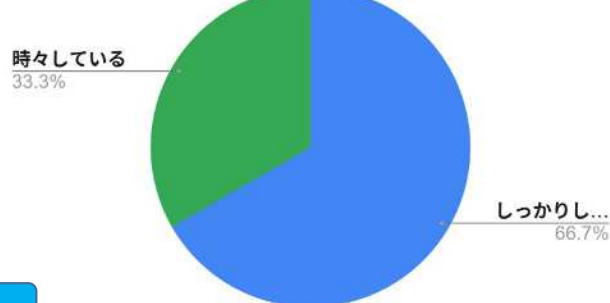


「3. 子どもたちは、挨拶をしっかりしていますか？」

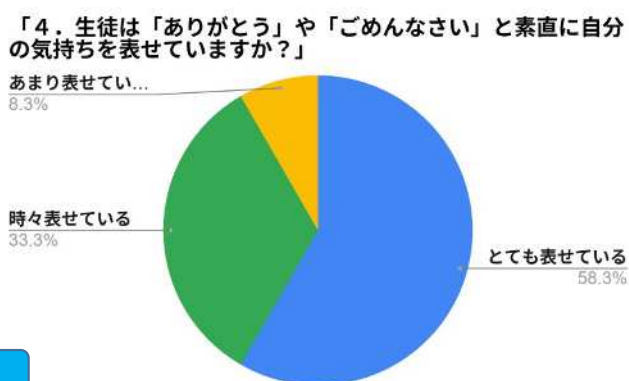
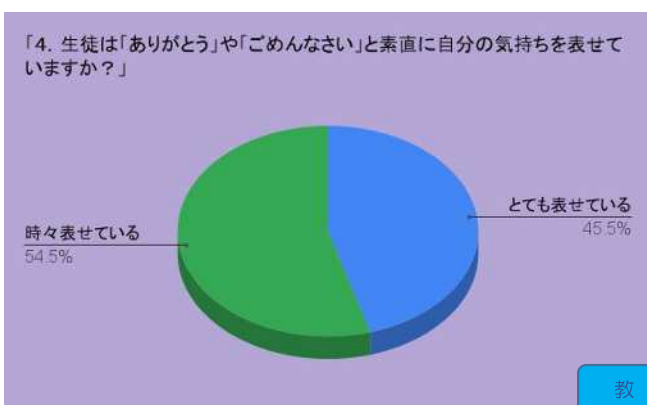
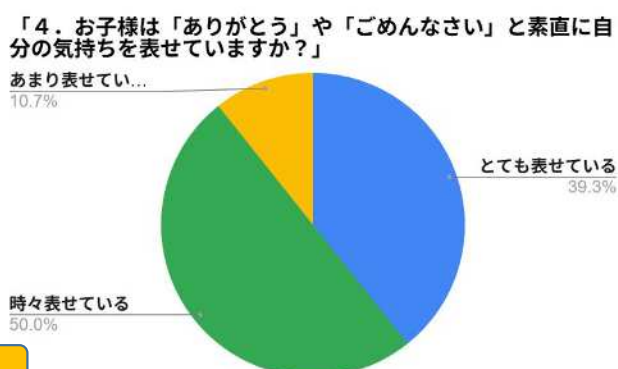
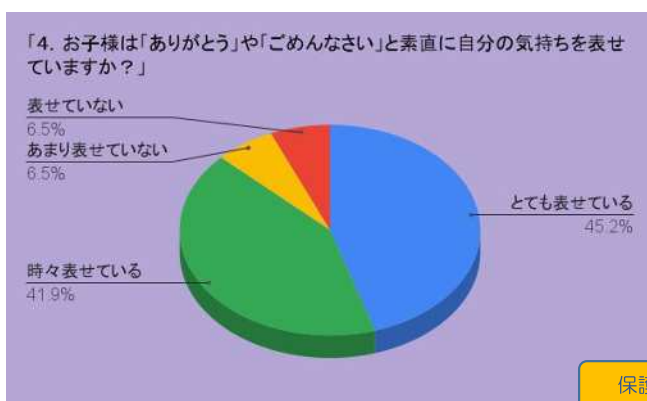
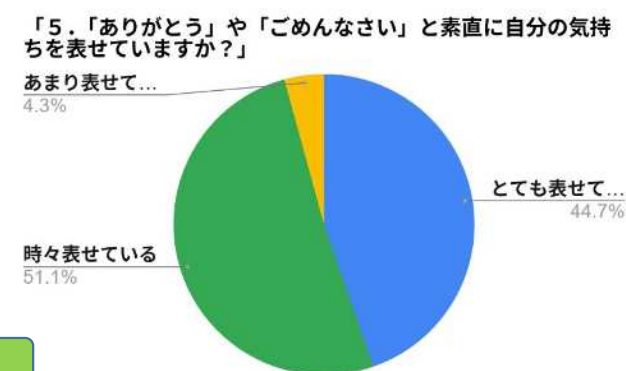
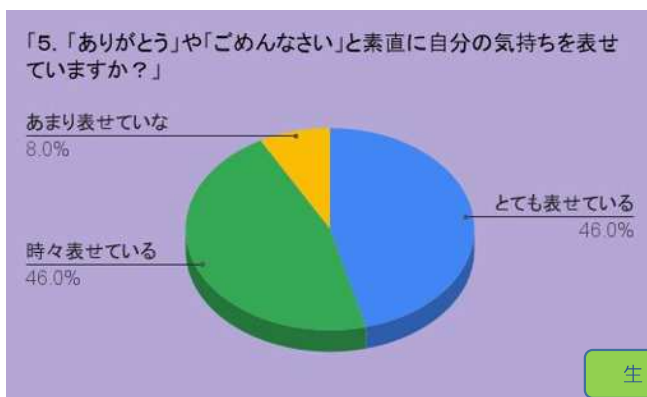


教 員

「3. 子どもたちは、挨拶をしっかりしていますか？」

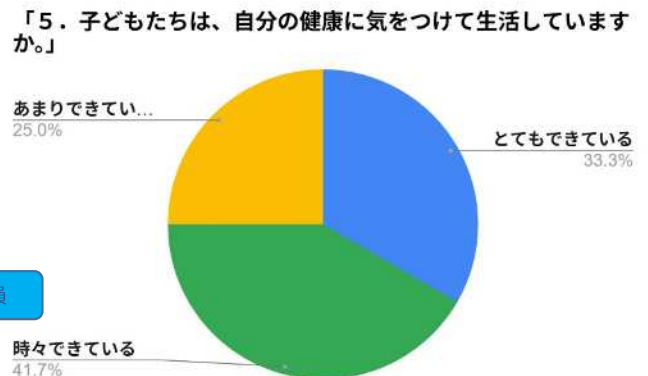
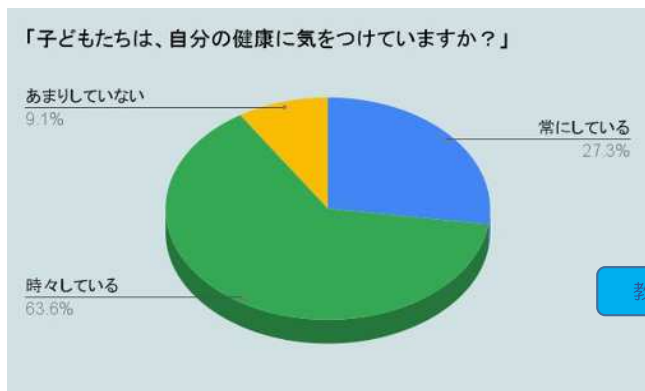
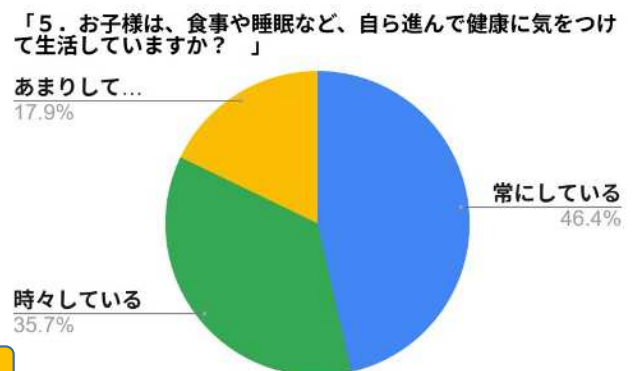
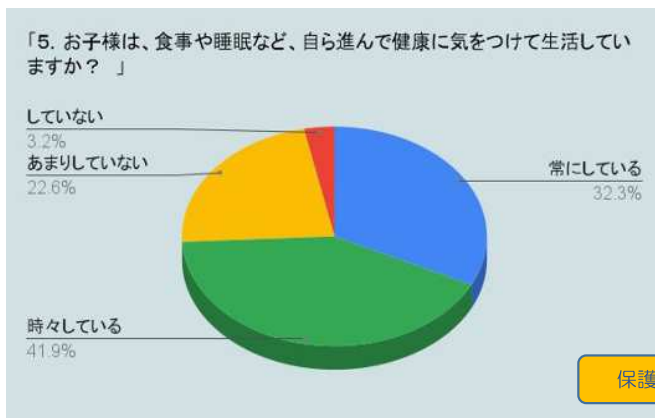
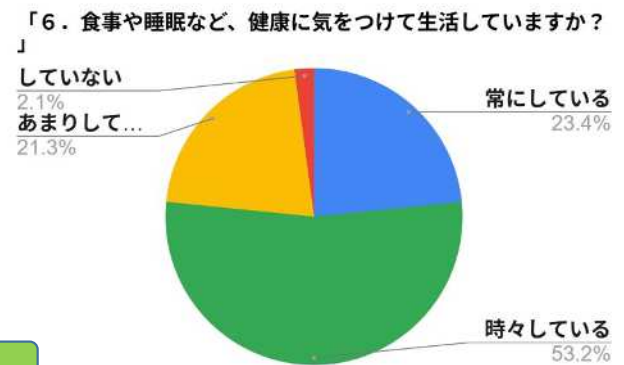
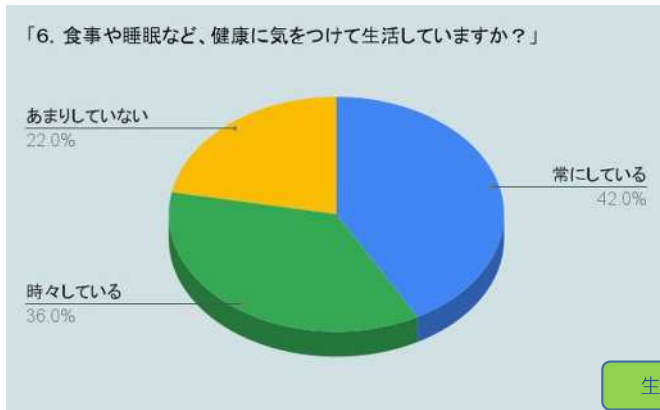


生徒の【していない】と教員の【あまりしていない】がなくなったのが良い点ですが、保護者の【しっかりしている】の数値が15%ほど減少し、【していない】の数値が前期はなかったのですが、7%増となっているので、今後も学校生活における挨拶の指導や生徒会を中心とした挨拶運動以外にも、家庭や校外でも積極的な挨拶ができる意識を向上させられるよう努めてまいります。



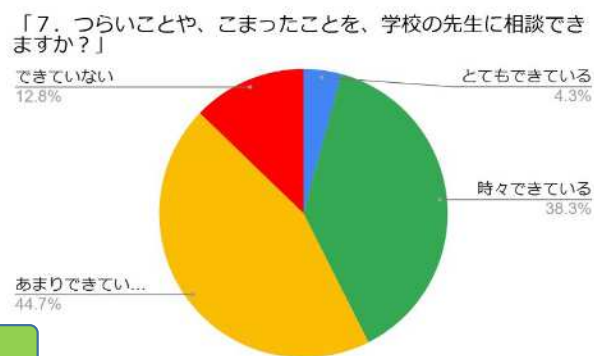
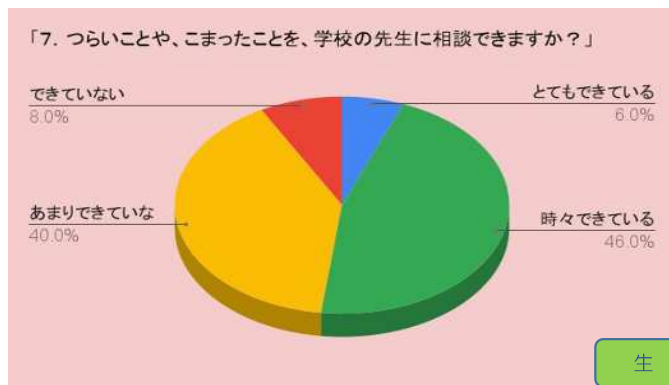
保護者の【表せていない】がなくなったことと、教員の【とても表せている】が増えていることが生徒の素直な気持ちをより表せるようになってきていると考えられます。今後も生徒が気持ちを表す行動だけを見取るだけでなく、気持ちのこもった感情表現ができる学校生活の雰囲気づくりを醸成していけるよう努めてまいります。

(健康でたくましい体)



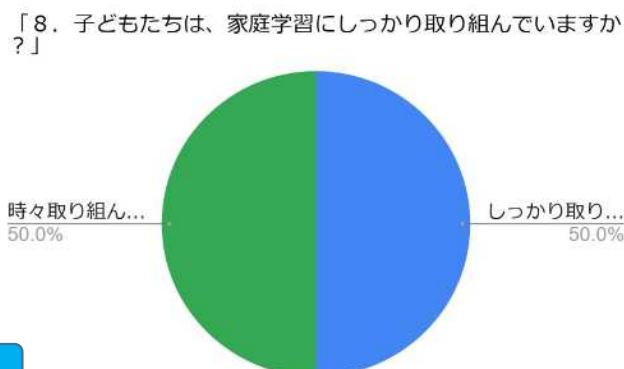
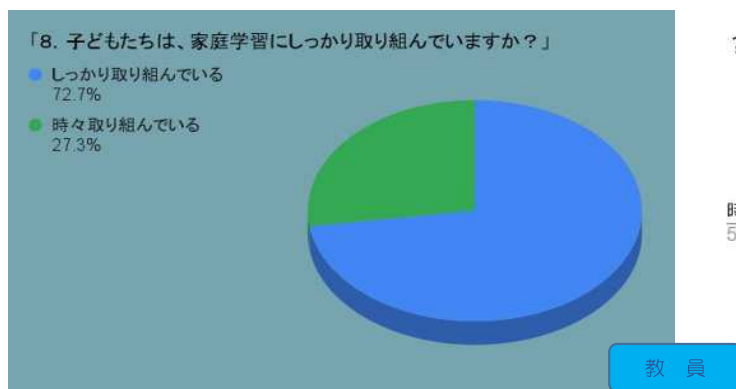
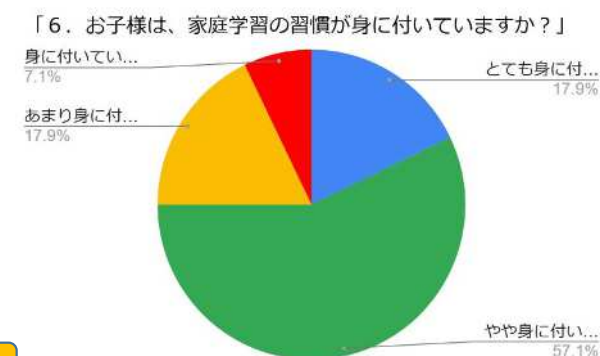
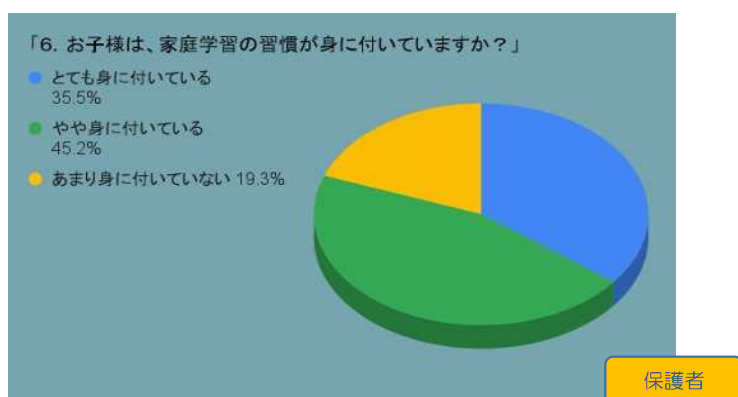
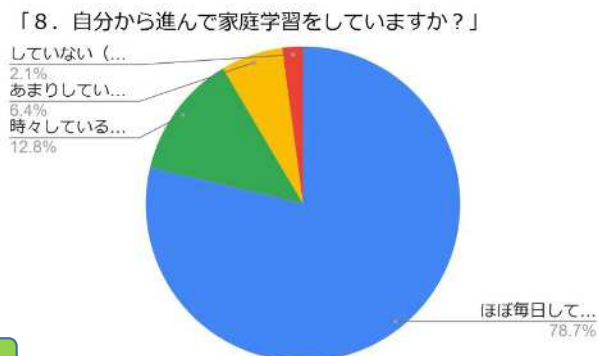
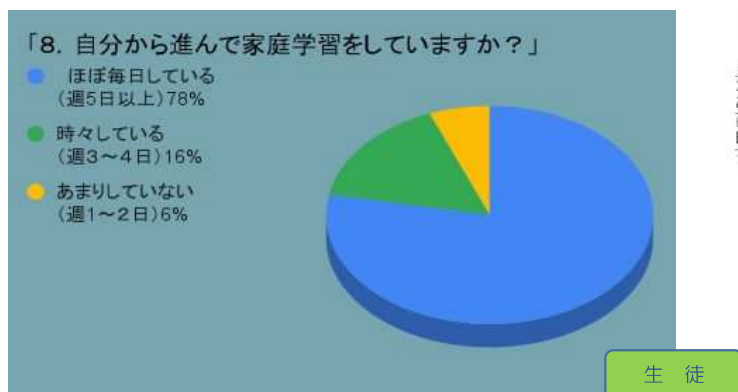
生徒の【常々している】の減少と、【していない】が前期はなかったですが若干数現れました。しかし、保護者と教員は肯定的選択の数値は増加しています。生徒自身のとらえ方と、客観的な見取りの差がある感じました。アンケート実施時期の季節も影響しているとは思いますが、夏場の熱中症対策や冬期間の感染症対策など、次年度は改めて健康に意識した学校生活を過ごすことが出来るようサポートしてまいります。

(学びの機会を保障し質を高める環境の確立)



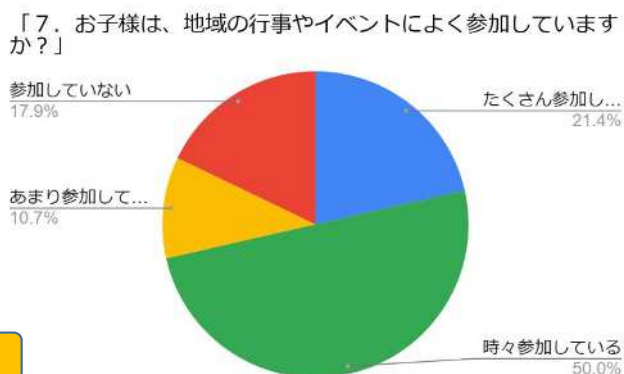
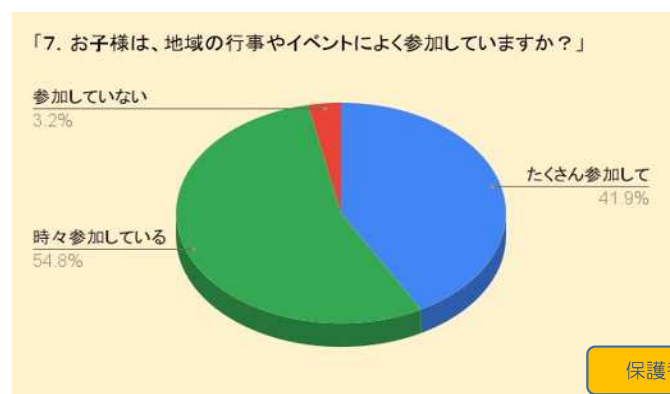
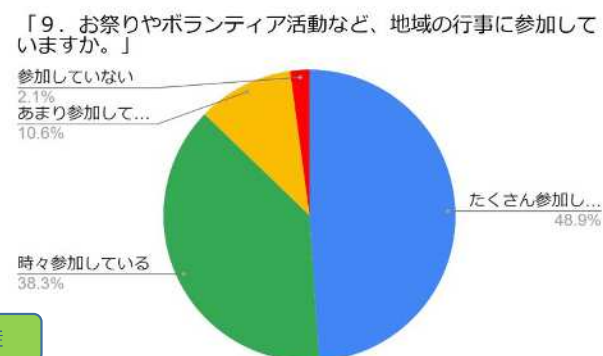
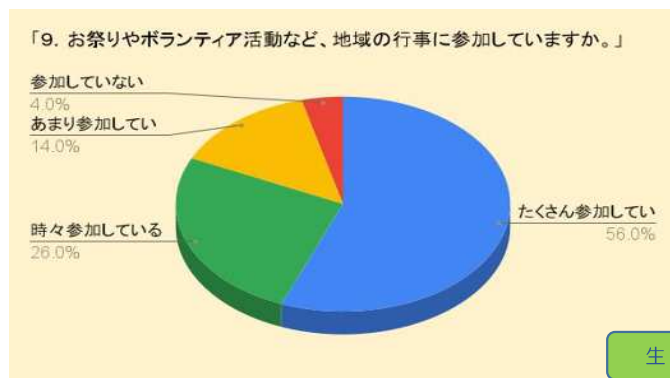
前期との比較では、【とてもできている・時々できている】が約 10%減となっている。今後は、定期的な教育相談や生徒からの相談・質問などからではなく、教職員が生徒に寄り添い、困り感に気づくことができるよう相談のしやすい環境作りに努めてまいります。

(家庭や地域との連携)



生徒は、前期とほぼ同様の数値となっていますが、保護者・教員は【とても身に付いている・しっかり取り組んでいる】など、どちらも大幅な減となっています。生徒が自らの課題を解決するため、家庭学習に意欲的に取り組み、継続していけるよう家庭と連携していきたいと思います。

(ふるさと陸別への愛着)



生徒は参加しているという肯定的な選択の割合が増えていますが、保護者の選択は前期より減少しています。生徒は町内のイベントなどでよく見かけます。イベントに参加したことを家庭でも家族と共有する・振り返るといった場面が今後も増え、保護者の回答に反映されることを願っています。また、今後も地域の行事やイベント・ボランティア活動にこれからも参加し、故郷への愛着をはぐくんでほしいと考えています。

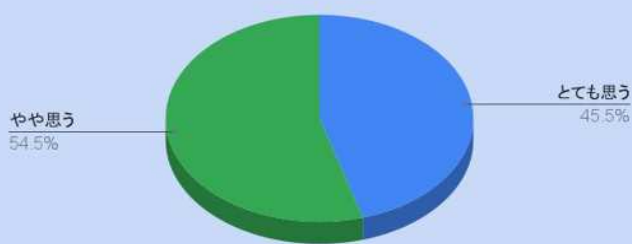
(目指す学校像)



- ・ 体育祭で主将を務めたこと
 - ・ 体育祭や文化祭など
 - ・ 大会の時、みんなが応援しているなか頑張る姿の自分は主人公のようだったから
 - ・ なんかを決める時とか自分で進められた
 - ・ 体育でのバスケ
 - ・ イベントでリーダーシップをとったとき。
 - ・ 自分で活躍したところもあるけど、してないことが多い
 - ・ 部活で努力して勝った時
 - ・ サッカーで活躍したこと
 - ・ 入学式
 - ・ 小学生の頃のサッカーの試合で5点きめた
 - ・ 宿泊研修の実行委員長を務めたこと
 - ・ サッカーの試合でPKになった時に、僕がキーパーで止めて、勝利したこと。
 - ・ 自分の話で盛り上がったとき
 - ・ 体育祭でチーム主将でリレーのアンカーをやったこと
 - ・ 自分から進んでやって助かることや笑かすこと
 - ・ リレー
- 生徒

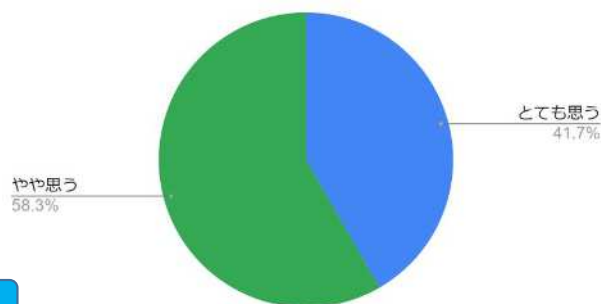
- ・ グループの話し合いの時に自分からどうするとか話したりした時
- ・ 学校行事
- ・ 文化祭で物語の主人公を演じたこと
- ・ 学級委員長・体育祭主将
- ・ バスケ
- ・ 2年生の文化祭
- ・ 文化祭や体育祭です
- ・ 調理実習などで積極的に動けたことです
- ・ 文化祭
- ・ クラスの中でのムードメーカーなど
- ・ 文化祭の有志発表、
- ・ みんなの前に立って物事を進めたとき
- ・ 自分で何か発表した時

「9. 子どもたちが「主人公」として活躍できたと思いますか？それは、どのようなことですか？」



教 員

「9. 子どもたちが「主人公」として活躍できたと思いますか？それは、どのようなことですか？」



教 員

- ・委員会活動や体育祭など、子どもたち中心で話し合い、活動内容や順序を決め、目的意識をもって取り組んでいるから。
- ・特に体育祭では、自分の役割をこなし、また、自身ができることを100%の力で発揮していたこと。
- ・算数の授業中、先生の説明がわかって頷き、ノートにその式を書く時、満足気に記入する姿。
- ・学級の花壇に水をやりたり草取りをした後、成長していく花壇を見ている様子は、「自分たちで（みんなの花壇）を作っているんだ」という自信に満ちている。
- ・体育祭や部活動、学級レクの企画など
- ・体育祭、文化祭
- ・体育祭での様子を見てみると、チームの一員としても、個人としても一生懸命頑張っている姿が見えました。
- ・体育祭など行事の際に目標に向かって主体的に活動しようとする姿を多く見ることができたため
- ・1学年については、先生方の協力もあり、それぞれの先生と生徒がよく話す姿があります。自分の存在を認識されていない（主人公とは思わない）生徒は少ないと思います。

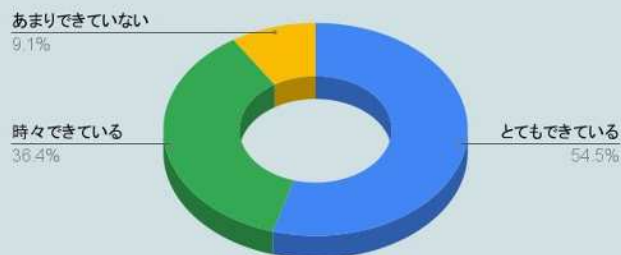
- ・一人一人当事者意識を持って生活するようになってきた場面が多くなってきたからです。
- ・行事での一人ひとりの活躍はもちろん、各教科の授業での取り組みや委員会活動などでも主人公となっている場面がたくさん見られた。更に、意見発表や部活動での活躍にも関心した。積極的な生徒も消極的な生徒もいるが、それぞれが主人公として生活できる環境だったと感じている。
- ・学習活動や学級活動、行事などで、1人1人活躍を見せる場があったから。
- ・1人1人が行事や部活動で活躍できる場面があり、主人公となって活動することができていたと思う。
- ・文化祭の映画祭や合唱、有志発表などで活躍できていた。
- ・行事や生徒会で活躍の場があったし、それぞれの生徒が生活の中で達成感や課題を得ることができたと思う。
- ・学年によって差があると思います。ボランティア部3年生や合唱の指揮者、伴奏者、パートリーダーたちの動きをみていると、教師の指導や意見をふまつつも自分の個性や考えを大切に行動、発言している姿があり、成長を感じました。
- ・生徒の良いところを生かして行事の役を決めたり、授業中・・・。

生徒・教員ともに前期とほぼ同様の数値でした。今後もさらに生徒一人ひとりが輝き、充実した学校生活を過ごせるように全教職員で協働し教育活動を展開していきます。

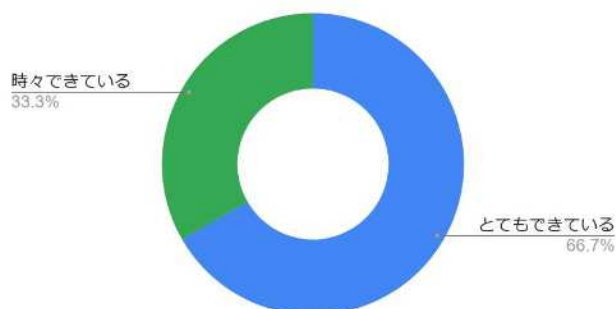
職員のみ提示の内容

教 員

「5. 職員室では、自分の考えを発言したり、他の先生に相談したりなど安心して働くことができていますか？」

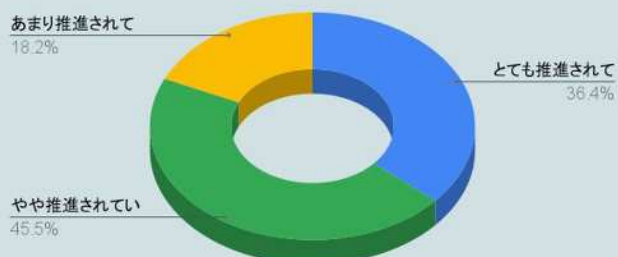


「6. 職員室では、自分の考えを発言したり、他の先生に相談したりなど安心して働くことができていますか？」

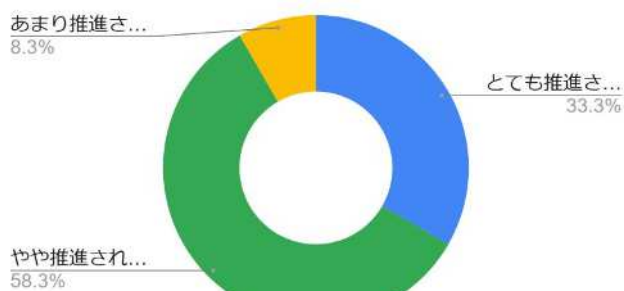


前期の数値を上回っています。今後も先生方が安心して働ける職員室の環境作りに努めていきます。

「6. ICT等を活用し、校務が効率的に推進されていますか？」のカウント数

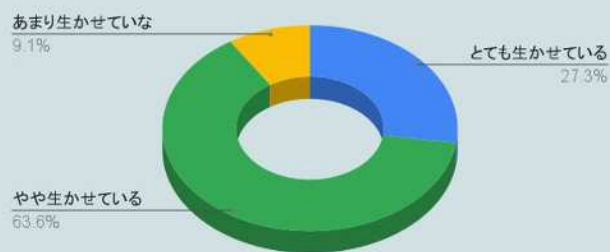


「7. ICT等を活用し、校務が効率的に推進されていますか？」



【あまり推進されていない】が減少しました。皆で協力し、教え合い・確認し合い ICT の推進を進めていきたいと考えています。

「7. 校内外の研修に主体的に参加し、自身のキャリアアップに生かしていますか？」



「7. 校内外の研修に主体的に参加し、自身のキャリアアップに生かしていますか？」



様々な問題(理想とする内容の研修がない・旅費の関係・空き時間の確保など)もありうまくキャリアアップに行かせられないという方もいらっしゃると思いますが、困ったことや悩みなどあればいつでも相談してください。

お気づきのことや学校をより良いものにするためのご意見などがあればお書きください。

- ・若手教員を主人公にできる環境づくりや学校経営をお願いします。私も全力でサポートします！
- ・”このまま（生徒の悩みを聞いたりして、学校生活を楽しく送れる）気がいたします。
行事などで、その計画や発表を取り組ませることでワクワク感が増し、「みんなと行事を楽しめて 嬉しいー!!」と、思える取り組み方を続けてほしい。
良いところ
★車に乗っていて横断歩道で「お先にどうぞ」のアクションをすると、陸別の小学生も中学生もペッコっとお辞儀をして渡り、渡り切ったら、深くお辞儀をしてくれます。
★先生に失礼なことを言いません。
★授業開始の「挨拶 終わりの挨拶 返事」に感動します。
★町中の人たちが well come で迎えてくれます。
★給食が美味しいこと。以上です。”
- ・”特にありません。いつもありがとうございます。”
- ・熱中症対策のため、教員住宅や特別教室へのクーラーの設置の検討をお願いします
- ・とても楽しく、安心して働いています！今後ともよろしくをお願いします！

前期

- ・いつもお疲れ様です。ありがとうございます。ちょっと業務がふれず、、、しかし頑張ります
- ・確・連・報の徹底。
- ・いつもありがとうございます。
- ・新1年生の人数をふまえた学級経営案、生徒会、清掃、行事の構想を早めに練った方がよいと思います。
- ・職員室で生徒の悪口を言わない、先生の悪口を言わない。

後期

ご回答ありがとうございます。学校評価アンケートだけでなく何かあったらいつでも相談して下さい。

陸別町立陸別小学校・陸別中学校 グランドデザイン

令和8年度共通目標

誰もが通いたい学校、働きたい学校

子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進

☆新しい時代に必要となる資質・能力

- ・個別最適な学びと協働的な学びによる学力の定着
- ・自立した学習者の育成
- ・小中一貫した教育課程の実施・改善
- ・PDCA サイクルの確立

☆豊かな人間性

- ・自己有用感を高める指導の充実
- ・発達支持的生徒指導の推進
- ・読書環境の整備と本に親しむ指導の充実
- ・個々の児童生徒に応じた支援

☆健康でたくましい体

- ・ヘルスリテラシーを高める指導
- ・新体力テストの活用
- ・学校給食を活用した食育の推進

学びの機会を保障し
質を高める環境の確立

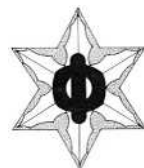
☆安心して過ごせる居場所

- ・アウトリーチ型相談体制の整備
- ・不登校の未然防止
- ・いじめの問題への組織的対応
- ・危機回避の指導の充実

☆働きがいのある職場

- ・心理的安全性の確保
- ・ICTを活用した校務効率化の推進
- ・自分事として考えるサービス規律保持の取組
- ・教員の主体的な学びの促進

陸別の子は
陸別で育てる
～保小中連携の
持続的な推進



家庭・地域と歩む
持続可能な教育の実現

☆家庭や地域との連携

- ・タブレットを活用した家庭学習
- ・家庭・地域との情報共有
- ・学校経営状況の公表
- ・CSと地域学校協働活動の推進

☆未来の陸別を担う人材の育成

- ・「りくべつ学」の推進
- ・地域諸行事への主体的な参加
- ・キャリア教育の充実